

高齢者ケアスキルアップ研修 2カ月後の調査

研修者用

お名前( )

研修を終えてからのことを振り返り、以下の質問に対して最もあなたの考えにあてはまる番号を○印で囲んでください。また、下の欄にご意見をご記入ください。

Q1 スキルアップ研修後、研修で得たことを職場の方に伝えましたか？

1. はい                      2. いいえ

「1. はい」と応えた方は、どのような機会や方法で内容を伝えたか、また、どのような内容について伝えたかについて、  
「2. いいえ」とお応えの方はその理由をご記入ください。

Q2 この研修後、あなたの業務実践に変化はありましたか？

1. はい                      2. いいえ

「1. はい」とお応えの方は、どのような点が変わったかできるだけ詳細にお書きください。  
「2. いいえ」とお応えの方はその理由をお書きください。

Q3 今回のような病院／施設研修は、今後も有効だと思いますか？

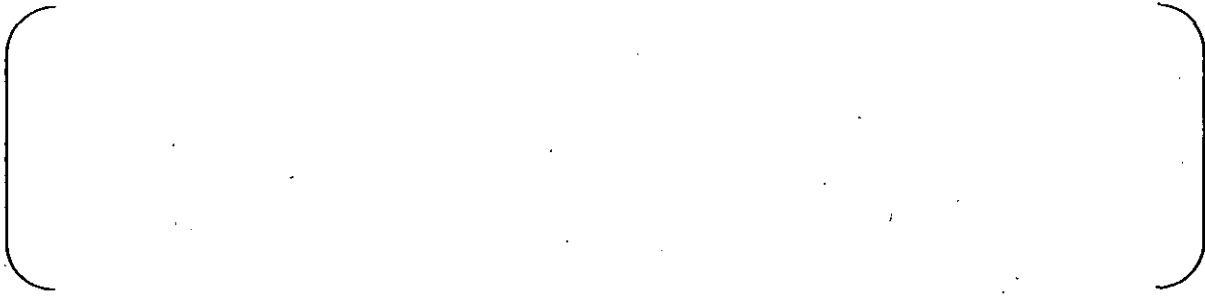
1. はい                      2. いいえ

裏面もご記入をお願いします。

Q4 振り返ってみて、研修の研修目標は達成できたと思いますか？

1. はい      2. いいえ

その理由をお書きください。



Q5 この研修に関して気づいたこと、感想、意見などあれば、自由にお書き下さい。



ご協力ありがとうございました。

高齢者ケアスキルアップ研修 2カ月後の調査

管理者用

施設名( )

貴施設のスタッフが今回の研修を終えてからのことを振り返り、以下の質問について最もあなたの考えにあてはまる番号を○印で囲んでください。  
また、下の欄にご意見をお願いします。

Q1 あなたご自身の職種、職位についてお教えてください。  
職種( ) 職位( )

Q2 あなたは、このスキルアップ研修にどのようなことを期待してスタッフを研修に出しましたか？

( )

Q3 スタッフが研修から戻ってからの様子から、期待した研修の成果はあったと思いますか？

1. あった      2. なかった

「1. あった」とお応えの方は、どのような成果があったかについて、  
「2. なかった」とお応えの方はその理由をお書きください。

( )

Q4 今回のような看護職の病院／施設研修は、有効だと思えますか？

1. はい      2. いいえ

( )

裏面もご記入をお願いします。

Q5 この研修に関して気づいたこと、感想、意見などあれば、自由にお書き下さい。



ご協力ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

# 高齢者ケアのマネジメント

## —教育講演とワークショップ—

\*\*\*\*\*

このたび、厚生労働省科学研究補助金主任研究者中村恵子の研究の一環で以下のような講演とワークショップを開催することとなりました。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

日時：2003年12月13日(土) 10:00~16:00

場所：神楽坂エミール(東西線神楽坂駅より徒歩2分、赤城神社隣)

東京都新宿区赤城元町1-3 (TEL:03-3260-3251)

対象：介護保険施設で勤務されている、または勤務を予定している看護職の方々

参加費：無料

講演者 Kazuyo K. Sooudi 先生はアメリカで高齢者ケアにおけるリーダー育成などスタッフの教育に関する研究・活動を行っていらっしゃいます。ぜひこの機会にご参加下さい。

ケアの現場で、具体的な問題、悩みを抱えていらっしゃる方々の参加を希望しています。講演を受けた後、参加者、講師の方々とともに解決策を模索、提言できるような会にしたいと考えております。

スケジュール

10:00~10:30 受付

10:30~10:45 司会(東京都立保健科学大学 勝野とわ子)

主任研究者挨拶(青森県立保健大学 中村恵子)

本日のスケジュール確認(資料)

講師紹介

10:45~12:15 講演「高齢者ケア施設におけるリーダー育成」

講師：Kazuyo K. Sooudi 先生

BEVERLY ENTERPRISES 国際開発部長

(Director, International Clinical Services International Development)

12:15~13:15 昼休み

13:15~14:00 プレゼンテーション「高齢者ケア施設における管理者の実践」

パストラル加古川 吉田和子氏

14:00~15:30 グループワーク

15:30~15:50 講師コメント

15:50~16:00 閉会挨拶

《申し込み先》東京都立保健科学大学保健科学部看護学科高齢者看護学 勝野まで

FAX: 03-3819-1406

《申し込み締め切り》2003年11月30日(日)

\*申し込み受付確認のご連絡はいたしません。直接本会場へお越しください。

# FAX 用紙

宛先 FAX : 03-3819-1406

東京都立保健科学大学保健科学部看護学科

高齢者看護学 勝野とわ子

## 高齢者ケアのマネジメントー教育講演とワークショップー 参加申し込み

|                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| 氏名                      |                              |
| 連絡先                     | 住所<br>〒<br>TEL<br>FAX        |
| 勤務先                     |                              |
| 勤務先での職位                 |                              |
| 関心のあるテーマ<br>(○をつけてください) | 1. 管理<br>2. 教育<br>3. その他 ( ) |

\*\*\*\*\*

# 高齢者ケアのマネジメント

## —教育講演とワークショップ—

\*\*\*\*\*

本日はお忙しいところご参加いただきありがとうございました。有意義な時間を共有できますこと、心から期待しております。

### \* グループワークについて

事前にお知らせいただきました「管理」「教育」「その他」のご興味でグループ分けをさせていただきました。受付でお配りしましたネームラベルに「教育A」などが記載されていると思います。それらがグループ名となります。午後はこれらグループに分かれて自由な討議をお願いいたします。各グループに担当者がつき、グループワークの進行のお手伝いをいたします。このとき皆様からいただいたご意見は研究の貴重なデータとして取り扱わせていただきます。この際、個人や所属が特定されないよう、またこの会の目的であります高齢者ケアの向上以外には使用しないことをお約束いたします。どうぞご了承ください。

### <プログラム>

10:00~10:30 受付

10:30~10:45 司会 勝野 とわ子 (東京都立保健科学大学)

- 中村 恵子 主任研究者挨拶 (青森県立保健大学)
- 事例募集のご案内
- 本日の講師のご紹介

10:45~12:15 講演 「高齢者ケア施設におけるリーダー育成」

- 講師: Kazuyo K. Sooudi 先生  
BEVERLY ENTERPRISES 国際開発部長

(Director, International Clinical Services International Development)

12:15~13:00 昼休み

(会場内での飲食はできません。館内のレストラン、外の飲食店などをご利用ください。)

13:00~13:45 プレゼンテーション 「高齢者ケア施設における管理者の実践」

- パストラル加古川 吉田和子氏

13:45~13:55 グループワークのための設営、休憩

13:55~14:55 グループワーク

14:55~15:20 各グループ発表 (討議感想等)

15:20~15:30 Sooudi 先生よりコメント

15:30~15:40 閉会挨拶 奥野茂代 (長野県立看護大学)

# 高齢者ケア施設の 看護管理者研修会 の ご案内

厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）研究  
「介護保険施設看護職の教育・研修プログラムの普及拡大並びに  
看護管理者育成支援モデルの開発事業」グループ  
代表 中村恵子 青森県立保健大学

このたび厚生労働省科学研究補助金をえて、高齢者ケア施設における看護管理者を対象にした研修会を開催することになりました。

この研修は、高齢者ケア施設における看護管理者に求められているマネジメント能力、高齢者ケア提供システムを変革する推進力となる者としての能力の向上を目的に、長野・青森の2会場で開催されることになりました。研修では、みなさんの日頃のお仕事に役立てられる5つのテーマとグループワークを準備しています。それぞれのテーマを学習すると共に、出席された皆様と一緒に高齢者ケア施設における看護職者の役割・専門性について考えてみたいと思います。実りある研修とよい出逢いがかないますように、皆様のご参加をお待ちしております。

## 1 期日と会場

|      |   |
|------|---|
| 長野会場 | 平成16年7月16日（金）～17日（土）                                  |
|      | ウェルシティーNAGANO : 長野県長野市七瀬中町276-6<br>TEL : 026-227-3336 |
| 青森会場 | 平成16年8月27日（金）～28日（土）                                  |
|      | 青森県教育会館 : 青森市橋本1-2-25<br>TEL : 017-777-3121           |

## 2 研修の目的・目標

目的：高齢者ケア施設における看護管理者に求められているマネジメント能力、高齢者ケア提供システムを変革する推進力となる者としての能力を育成する。

目標：1. 福祉施設における看護の役割と専門性を発揮するために、マネジメント能力の向上を図る。  
2. ケア提供システム変革推進者としてのリーダーシップ能力の向上を図る。  
3. 教育実践能力の向上を図る。



### 3 日程と内容 全課程20時間、参加者は、2会場のうちどちらかで全日程の参加が条件です。

#### \*スケジュール

|                     |   |  |
|---------------------|---|--|
| 予定                  | 長野会場：7月16日（金）<br>青森会場：8月27日（金）                                  | 長野会場：7月17日（土）<br>青森会場：8月28日（土）             |
| 9:00<br>～<br>10:30  | 開講式<br>グループワーク①<br>(奥野茂代 長野県看護大学他)                              | セッション6:組織変革と看護職者のリーダーシップ<br>(永池京子 浦添総合病院)  |
| 10:40<br>～<br>12:10 | セッション1: リスクマネジメント<br>(中村恵子 青森県立保健大学)                            | セッション7:組織変革と看護職者のリーダーシップ<br>(永池京子 浦添総合病院)  |
| 13:00<br>～<br>14:30 | セッション2:高齢者ケア施設におけるジレンマと意志決定<br>(Y・H リボウイツ 青森県立保健大学)             | セッション8:職員教育<br>(矢部弘子 聖隷クリスティー大学)           |
| 14:40<br>～<br>16:10 | セッション3:<br>高齢者ケア施設における看護管理<br>ーコストマネジメントと質の管理<br>(桃田寿津代 横浜総合病院) | セッション9:<br>グループワーク④<br><br>(奥野茂代 長野県看護大学他) |
| 16:20<br>～<br>17:50 | セッション4:グループワーク②<br>(奥野茂代 長野県看護大学他)                              | 閉講式<br>*17:00 解散                           |
| 18:30<br>～<br>20:30 | セッション5:<br>グループワーク③<br>(奥野茂代 長野県看護大学他)                          |  |

#### \*研修概要 (敬称略) 黒字は、講師からお返事あり。

##### セッション1: 目標 1.2. リスクマネジメント

リスクマネジメントの理念や原則を理解し、高齢者ケアの特徴をふまえたケア方法や実践からケアの質を保証するシステムづくりについて考えます。また、事故発生の予防と対応の実際について、自らの施設事例を検討し、リスクマネジャーとしての看護職者の役割を一緒に考えてみたいと思います。

##### 講師プロフィール: 中村恵子 (青森県立保健大学 教授)

大学教授と病院看護管理者を両立したユニフィケーション実践者としての長年の経験を活かし、高齢者の安全、リスクマネジメントについても県内外での講演やスーパーバイザーとして広くかかわっている。

##### セッション2: 目標 1.2. 高齢者ケア施設におけるジレンマと意志決定

倫理とは人間として尊重する基本的な姿勢であり、より良い看護を提供する為に考慮することだと思います。日本でもアメリカでも其々の国において当然として行われていることが、お互いの意識にあがっていないこともあります。皆様が毎日遭遇されておられる倫理的課題とは何でしょうか。インフォームドコンセント、自己決定権、終末期ケア、生前指示、QOL 等の基本的人権に関しアメリカでの看護実践経験を通して、日本の高齢者ケア施設における倫理的課題とアプローチについて皆様と考えてみたいと思います。

講師プロフィール：Y・H リット (青森県立保健大学 教授)

米国フィラデルフィア市における病院・施設の看護管理、及び在宅ケア経営に長年携ってきた。高齢社会、医療改革の中で途切れない継続ケアを今後システムとして構築していくかの研究、終末期ケアの研究等をテーマとして国際的な視点から教育・研究を行っている。

セッション3：目標 1.2. 高齢者ケア施設における看護管理—コストマネジメントと質の管理

高齢者ケアサービスの質を考慮したコストマネジメントのあり方を理解し、実際の取り組み方について学ぶ。内容としては、高齢者ケア施設サービスの原理・原則、コストマネジメントとは何か(プロセスを含む)、高齢者ケア施設の質を作用する要因とコストマネジメントについて解説し、さらに高齢者ケアにおけるコストマネジメントの実際を皆さまと考えてみたいと思います。

講師プロフィール：桃田寿津代 (横浜総合病院 看護部長、介護老人保健施設 横浜シルバープラザ 看護部長)

セッション6、7：目標 1.2. 組織変革と看護職者のリーダーシップ

より質が高く、効率的な看護サービスの提供を図るための組織変革や組織成長を推進する人の特性行動と、医療サービスの提供現場における患者ケアの実践者と管理者の協働について解説します。看護や介護職員が活き活きとした職場環境づくりに必要なマネジメントを皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

講師プロフィール：永池京子 (医療法人仁愛会 浦添総合病院 副院長・看護部長)

聖路加国際病院に看護師として約10年間勤務の後、米国の大学で看護学士、修士号(病院経営管理学、看護管理学)を取得。ハワイメディカルクリニックなどにおけるヘルス・プログラムのマネジャー、医療コンサルタントを歴任し2000年から現職。現職の副院長・看護部長の重責を果たしながら、看護サービスの質改善や人材育成をめざして看護管理者 (エグゼクティブ) ナーシング・リーダーシップの研究・教育活動を行っている。

セッション8：目標 3. 職員教育

介護施設における職員教育は、職員構成、資格や教育歴、年齢、価値観の多様さのために、体系的な教育を企画・実施していくことが特徴としてあげられます。職員個々の学習意欲を継続し、どのような学習スタイルを支える体制を作ればよいかなど、これまでの介護老人保健施設における体験をとおして、紹介します。

講師プロフィール：矢部弘子 (聖隷クリストファー 教授)

東京都老人医療センターに6年間勤務後、看護系の短大・大学で老年看護学の教育に関わる。その後、介護福祉老人保健施設で教育企画担当を経、平成14年度より聖隷クリストファー大学社会福祉学部で勤務する。

セッション 4.5.9 (グループワーク①②③④)：目標 1.2.3. グループワークは、3つの目標に関する参加者自身の課題についてメンバーと語り合い、対策を検討することで自分の今後のすすむべきあり方や展望について確認する。セッション4 (グループワーク②) は、懇親会を兼ねて行います。

講師プロフィール：奥野茂代 (長野県看護大学 教授)

ファシリテーター・メンバー：千葉真弓、太田規子、曾根千賀子 (長野県看護大学)  
中村恵子、小山敦代、吹田夕起子 (青森県立保健大学)  
勝野とわ子 (東京都立保健科学大学) 他

4 研修講座 全課程修了者には、修了証を差し上げます。

5 参加費用 研修費は無料

ただし、宿泊・食事代（一泊3食）など実費

・長野会場：宿泊・食事代（一泊3食込み） 約13,000円

（振り込み用紙は、参加決定者にお送りします）

宿泊は、一部屋5～6名の和室となります。

・青森会場：食事代 約6,000円（8/27昼食、夕食、8/28昼食）、

（振り込み用紙は、参加決定者にお送りします）

**青森会場の参加者は、参加の決定後に宿泊は各自でお申込み・お支払いいただくこととなります。**

6 申込み期日・方法 平成16年5月14日（土）

※同封のFAX送信票を用いて下記へ申し込んでください。

FAX:0265-81-5175 長野県看護大学老年看護学 千葉真弓研究室

7 定員 高齢者ケア施設に勤務する看護管理者、リーダー的な立場に就いている者か、または将来リーダー的な立場に就く予定の者 80名（但し、長野会場40名、青森会場40名）

8 参加の決定 応募者多数の場合、先着順にさせていただきます。

**5月下旬に、参加の可否について連絡させていただきます。**参加が認められた場合、事前レポートならびにアンケートへ協力していただきます。

提出資料に関しては、個人のプライバシーを守り本研究以外に使用しないことを申し添えます。